

An illustration featuring several anime-style characters. In the center, a character with brown hair and green eyes, wearing a white and blue outfit with a large blue bow, is being held from behind by a large, muscular character with a large orange buttock. To the left, another character with brown hair and green eyes, wearing a purple and white outfit, looks on. In the background, another character is visible, and a large, muscular character with a large orange buttock is prominent on the right side. The scene is set in a room with red curtains.

対○忍シズク

ふたなり 恥辱絵巻

- クリ責めからふたなり化
- 触手オナホこき
- 擦りつけながら触手渡り
- かゆみ責め etc...

• 基本CG 10枚

• 差分 155枚

• テキスト/効果ありなし収録

ダンジョン地下12階





全く…
どこまで進んでも
雑魚ばかり!

もつと歯応えのある
やつはないのか!!

もう終わりか…

キッ

この階層の敵も
大したことなかったが…
どうにも依頼の内容と
敵のレベルが合わないな…



とはいえこのまま
雑魚を狩り続けても
進展はなさそうだ！

それなら少し
ヨイツを泳がせて
みるとするか



ん…逃げたな
だが気配は追える

よしよし…
では親玉のところを
案内してもらおうかしら







くっ！狭い…！
面倒なところに
逃げ込んでくれたな…

だが事前にもらった
マップにはこんな通路は
記されていないかった

グ
グ
グ

この先から
濃い魔獣の気配も
強烈に漂ってきている
どうやら当たりか
このまま進んでいけば…

千
イッ



ん？なんだ…先ほど
逃がしてやった魔獣か

ここまで案内
ご苦労だったな
だがもうお前は用済み…

さっさと潰して
先に行かせてもらおうか

ズル
ズル
ズル…

ピキヤッ





んつく…
この！やめろ！
そんなところ…
グリグリ…するな！

まずい…！
通路が狭すぎて
うまく身動きがとれない！

ググッ

ビクッ

ズズ…

ググッ

ズズ…



なっ!?しまった!

他にも潜んで
いたのか!

キルッ

私としたことが
こんな低級魔獣の
接近にも気づけないなんて……!

とにかく一度
態勢を……!

キルッ

キルッ



まっまずい！
振動が強くなって…！

そんなっ！だめだ！
い！イ！かされる！！
こんな雑魚魔獣に
対魔忍たる私が…！

だめだ！
いってしまおう！

ザッザッザッザッザッザッ
ザッザッザッザッザッザッ

ギッギッギッギッギッギッ
ギッギッギッギッギッギッ

ビッビッビッビッビッビッ
ビッビッビッビッビッビッ



よくもこのような
屈辱を...今すぐにでも
地獄の如き苦痛でもって
償ってもらおうぞ!

はあっはあっ...
ぐっぐっのお...

ぐっぐっ
ぐっぐっ...



なっ日
後ろからも…!!

次から次へと
数だけの低級が…
これ以上調子に乗らせて
たまるものか!!

ギキッ

ビッ

ユッ

ビッ

グッ



とにかくまずは
この手足の拘束を
外さなくては！

所詮は不意打ちしか
できない低級魔獣...
こんなもの力づくで...!





こ…今度はなんだ？
陰核に何か刺さって…
打ち込まれた？

毒か？だとすれば
早く浄化しなくては…！



やんひんさん!!
やつやめーん!!

さっきイカされて
敏感になつてるのに!
し...しごくなあ!

ピクピク

カク

カク

ゴクゴク



お：落ち着け私！
ただ陰核を…体の一部を
いじられたくらいで
何を取り乱しているんだ！

こんなもの…
少し精神統一して
気持ちを静めれば…！



んあっ!!
なんだ?お尻?

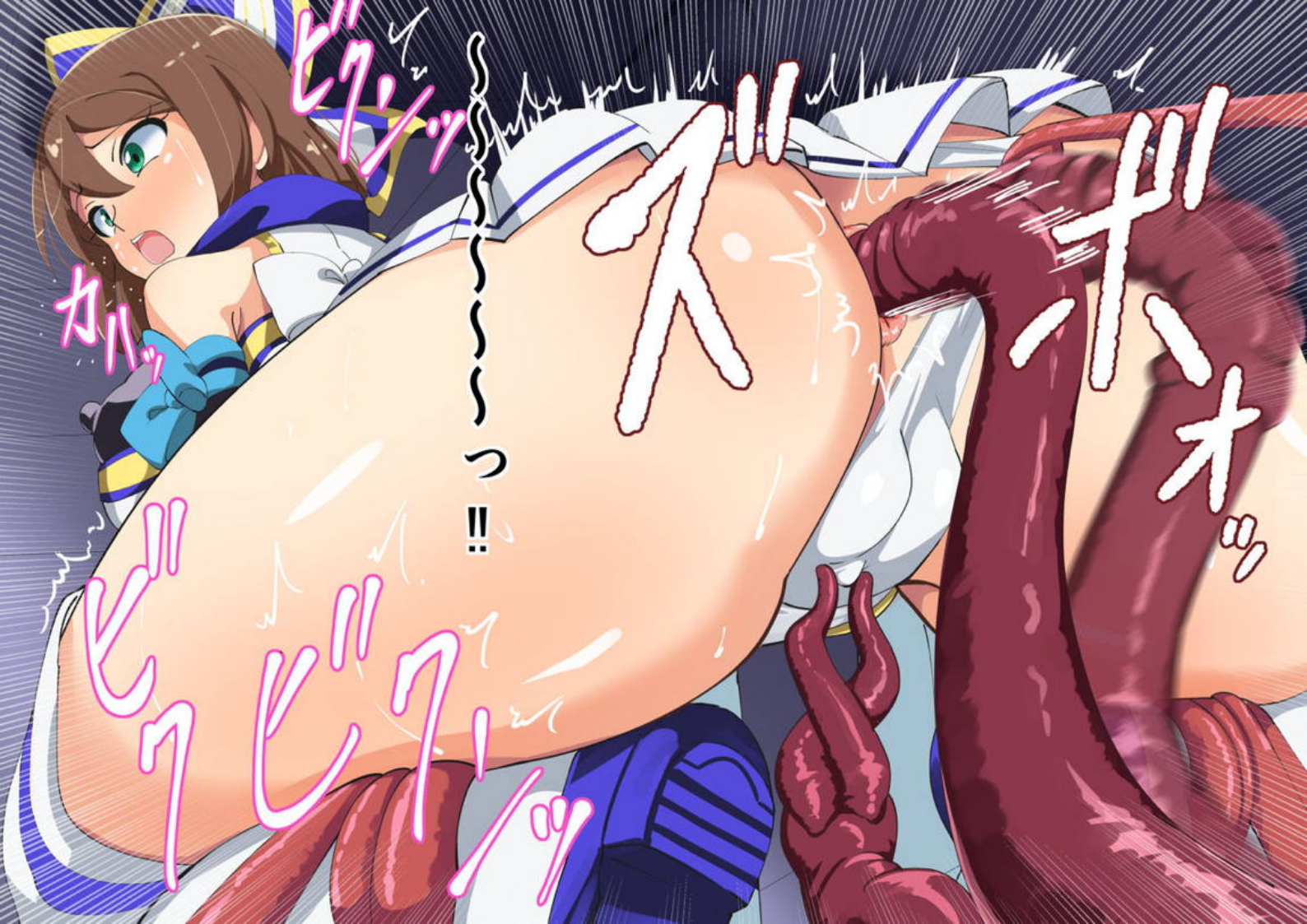
お尻の穴に
何か当たって...?

っ

っ
ぽっ

っ
っ

っ
っ





こいつ...そんな...
お尻の穴にだなんて...!!
一体何を考えて...!!

ビーン

7"70

7"43

いや...そんなことは
考えても仕方ない!
これ以上何がされる前に
ロイツらを...!!





なっ…なんだ…今のは!!
お尻の穴…引っこ抜かれると
す…すごく…!!

だっだめだ! また!
陰核…クリトリスも…
しごきながら…そんな…
されたらあ…!!



おほおおおおおおお!!



はあはあ...
うう...
低級魔獣に二回も...

しかも...
お尻でだなんて...!

こんなこと...
絶対に許さない!
今すぐお前たちを...!



床が傾いで...!!

へっ? 何?

カマ

カマヤ





この...
離せ!

先程から
不意打ちばかり...
後れをとる
私も私だが

調子に乗って...
今度はこのような
屈辱的な格好...!

ギッ
ギッ
ギッ

グッ
グッ



早く抜け出したい
ところだが…

ここまでいじられ
続けたクリトリスが
妙な疼き方をして…

か…体に力が…!



よせ!!近づくな!
そこは...!!

う
何をする
つもりだ...!

なっ...なんだ?



とにかく...いつが
エスカレートする前に
倒さなくては!!!

んんっ!!!
だっだめだ!
今日をいじられたら
ただでさえ爆発しそうだった
快感が抑えきれなく!!!

ロク...



拘束している触手も
大した力はない
ここは多少
無理をしても…!

こいつらも同じく
低級な魔獣の集合体

んうっ…くちゅ…
先程のようには
いくものか…!

ロロ

ロロ



カサッて……ッ！



だめだ！だめだ！！
これ以上は...もう！！

そんな吸いつきながら
激しく舌で舐られたら...！！

おっ...おかしくなる！
クリトリスが...
快感で爆発しそうだ...！！

くひいん！！
ぐっ...や！やめ！

ハハハ

ピッピッ
ハハハ

ハハハ



はうっ!!
今度はなに...!!
クリトリスが...
へ...変だ...!!

際限なく溜まってきた
快感が...行き場を失って
クリトリスの中で
大きくなって...!!

昇ってきてる!!
何かが...体の奥から
クリトリスに向かって...!!

くっ...来る!
イク! イっっちゃう!!

ビクビク

ビクビク

ビクビク

ビクビク



あああああつちっ!!



なななっ!!
何だこれは!!

まさか!!
と...殿方の...

どっどっとして
こんなものが私に...!!

びび
ぐぐ



ほっ!!
今度は何?

お尻の奥のほうから
何かが男根に向かって
一気に昇ってくる!

快感が!!
気持ちいいの塊が
昇って...!

腰っ跳ねちゃう!
来ちゃう!

昇ってくる!イク!

イクイクイクう!!

カッ

カッ

カッ

カッ





くそやんもこんな
おぞましいものを...

はあ！はあ！
そんな！射精まで
してしまうなんて！

びびび

びびび

ぐろ...



！
だが！今の射精で
快感に飲まれそうだった
頭が冴えてきた！

今なら…
抜け出せる！！

グググ

グググ

ギョッ ミキッ

やあ！

せえい！！

よくも誇り高き
退魔忍たる私に
あのような屈辱を
くれたものだな！

このお返しは
たっぷりさせてもらおうぞ！

ズ
カカカッ

んひっ!!

なっ…なんだ!!
体を動かすと
男根がスーツに
思いつきり擦れて…

その度に力が
抜けそうになる!

びびる
びびる
びびる

くうっ！

なんだ…この

むずがゆい感覚は…！

これでは戦闘に
集中できない！

こいつらを倒したら
一度なんとかしなくては…

びびるん
びびるん
びびるん



はあっ!!はあっ!!
なんと厄介な!!

と!!とにかく
次の敵が集まって
来る前にどうにか
鎮めなくては!!

グッ

グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



んっ：
さ：先程は確か：
触手にしごかれて：
精液を出した後

幾分か治まって
反撃に打って
出られたのだから

ビクッ
ビクッ
ビクッ

も...もう一度アレと
同じことをすれば...

ア
ア
ア

クッ
クッ
クッ



んひっ...!?
う...くふ!
そ...そうだ...
この感じだ...

この男根からの
妙な刺激で
腰が勝手に浮いて...

な...何かが...
昇...てくる感じ...!
は...早く済ませて...
次の戦闘に備えなくては...!

ゴクッ
ゴクッ



ふんづつ…ふんづつ…
ふんづつ…

しかし…
不覚をとったとはいえ
こんな敵地のど真ん中で
勝手に生やされた
男根をしごくなど…

対魔忍にあるまじき醜態…
この雪辱…必ずや…!

ハッ
ハッ

ビクッ
ビクッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ



うあつぱやつ...
きつきたーまた!

奥から昇って!

うあつぱやつ...
きつきたーまた!

ビーン

バクバク

ドクドク
ザッ





はあ...はあ...
まだ収まらないのか...

こ...これではまだ
戦闘はままならないな...

仕方ない...
も...もう少し...
出しておくか...



はあっはあっ！
んっ……んっ……

んっ……
仕方ないんだ……
これはやむを得ない
あくまで必要な処置だ

決して……
男根の快感に
従っているわけでは……
んっ……断じて……！

んっ……
んっ……
んっ……
んっ……



クェルル...

んふっ！ふっふっ！
んっ！きた！また！
せつ！精子昇って！

このままイク！
ちんぽシロシロで！

イクイクイクう！！

ゲッ

ビッ
ビッ
ビッ

ハッ
ハッ
ハッ

クェル

シッ
シッ
シッ
シッ
シッ

クェル...



おほお！イクう！！
射精するう！

ビュッ

ぶる

ドッ



ドクッ

え...!?

まっ魔獣!!

しまった!
罠まれて...!

ん

ん



な…何をしてるんだ私は…
男根をしごくのに夢中で
索敵を怠るなど…

急いで脱出
しなければ…

グググ…

グググ

グググ



はうっ!!

なんだ!!
どうして急に...
お...おなかが...

だっだめだ!
こんなところで
出すわけには...
我慢しないと...

はうっ!!

はうっ!!

ぶるる

はうっ!!

はうっ!!

はうっ!!

はうっ!!



ち：違う…これは…
おなかの中で
何かが暴れてる…？

さっきお尻に
注がれたときに何か
混ざっていたのか？
それがおなかの中で
成長して…？

毛ノオ…

ヒッ

ヒッ



ぐっ……くそ！
コイツ……勝手に
出ていこうと……！

お尻から魔獣を
排泄するなんて……
絶対……嫌だ……！

出してみたまるものか……
絶対に……い……！

ビュッ
ビュッ
ビュッ

グッ
グッ
グッ



んんんんっ！
だっだめ！これ！さっきと同じ！
お尻から魔獣が抜けていく
気持ちよさに…耐えられないっ！

しっしかも！
なぜかその快感が
ちんぽにも伝わって…！

嫌だ！魔獣排泄なんて…
したくないのにい！



ほほおおおお!!

だめ!!だめだそんな!
暴れて!お尻の穴!ほっ!
広げたら!おかしくなる!

ちっ...ちんぽ!
ちんぽにもピンピン
響くうう!!

ビッ
グッ
ビッ
グッ
ビッ
グッ

グッ
グッ
グッ



でっ…
出るう！

んぐっ…い…
ちよ…ちよつと…
いつちやった…！
また…お尻で…

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

グッ

グッ



はあっはあっ…
よ…よくも人の
おなかで勝手に…!

すぐ…
後悔させて…!

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ



ひっ！ちょっと！
何をするつもりだ？！

そこはだめだ！
今お尻いじられて
敏感に……！



んんいらいり?
くっ! やあつ...
魔獣のあつたかい回
ちんぽ包まれて...!

ちっ...ちんぽが!

ジュッ
ジュッ
ジュッ

バ
ジュッ
ジュッ
ジュッ



って!!馬鹿!!
何を考えているんだ私は!
ちんぼのことなど
今はどうでもいい!

さっさとこの雑魚たちを
振り払って反撃するんだ!

ビクッ

グッ
グッ
グッ
グッ

ビクッ



まずは精神を
落ち着かせ……



ほっ?おっ?!

なっ...そんな!
たった...ひとしごきでっ!
魔獣のあつたかい
いほいほのお口でっ!

イク!
早漏ちんぽイクう!

ビク

ビク

ビク
ビク
ビク



いつぐうう!!

んぎっ…ひぐう!

ビュッ!

ビュッ!!

ビュッ!!

ビュッ!!

ドン!

ドン!



はーっ…はーっ…
くうう！また…私は…！
だ…だが！一度射精したことで
頭も冷えてくる…！

決してこんな
ちんぼの快楽に
流されたりなどしない！

びゅん
びゅん
びゅん
ぶる



んんっ!!

ちよっ...ちよっと!
い...今ので終わりじゃ...?

それにちんぽの
勃起も治まってない!!
待って!あんなの
またさらたら!

びびび

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ

びびび



だめ!だめだめだめえ!
イッたばかりの敏感ちゃんほ
そんな連続で...!!
高速じゅぼじゅぼされたら!
またすぐイっちゃう!

カッ
んひいいい!!

グッ
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

カッ

カッ



ちんぽイク！精子くる！
赤ちゃん魔獣のお口しごきで
ちんぽ射精するうう！！

ちんぽ…

こんなちんぽさえ
なければ！ちんぽさえ！

ふっふっ…！
くそ！こんな！
こんな生まれだばかりの
雑魚魔獣にいいようにされて！！

ビーン
ビーン
ビーン

プッ
プッ
プッ

プッ
プッ
プッ
プッ
プッ

カッ
カッ
カッ
カッ
カッ



ひぐーひきゆう!!
ちんぽ
イクイクう!!

ト!!
キキキキキキ

ビュッ!!
キキキキ

キキキキキキ



ふっうぐ...
しやせら...とまんな...

どんどん出るう...
出し尽くすう...

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

グッ
ポッ

グッ
ポッ

びしょ

びしょ



ぬっ…抜けた!!
どうして?

!?

グッ

カッ

カッ

カッ



?...苦しそうに
のた打っている!!
もしかして私の射精の量が
こいつの容量を上回った?

いえ...考えるのは後!
この隙に...!

グイッ

ビッ
ビッ

グッ
グッ

ド
ド
ド

はあっはあっ
どうだ！思い知ったか！

お前達程度の低級魔獣
私にかかればこんなものだ！



ん…しかし…
こいつらの狙いは
どうやら私の精液らしい…

ここからは極力
射精だけは我慢して
いかなければ…

ピ
ン
ツ
ピ
ン
ツ

”
”
”

”
”
”



んっく…
下の層の魔獣の巣窟を
避けるためとはいえ…

こんなところを
渡るしかないなんて…!

アッ
アッ



いえ…文句も
言っではいられない
この天井付近の触手は
活動がかなりにぶい…

グググ
気配を消して
気づかれずに渡り切れれば
無駄な消耗を大きく
避けられる！

ズ
ズ

射精だけは
絶対に我慢しないと！

私の精液が
狙われている以上
射精すれば間違いなく
気づかれる…

ビュッ

ハッ

ハッ

ビュッ

ズグッ

ズグッ

グッ

ぶる

グッ

それにしても
この丸太のような触手…
表面にびっしり生えたつぶつぶが
男根をくまなく包むように
刺激して…

しかも…自らの体重で
押しつけながら
進むせいで…

グッ
グッ

アッ

ズ
ズ





満遍なく擦れて…
きつ…気持ちいい…!!

グッ
グッ
グッ
グッ

ビッ
ビッ
ビッ

グッ
グッ
グッ
グッ



んんんんんんっ！
全身の動きを…止めて！

少しでも…刺激を
減らしてえ…！

たっ…耐えろ！
昇ってくる精子の波を
押さえつけるんだ！

はあ……はあ……
あ……危なかった……

あと少しで
出でしきるところだった……

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ





ふう……ふう……
あと……少し……
あと少しで向こう岸だ

グッグッ

それで自由に動ける
スペースを確保して
すぐに魔獣が襲ってきても
大丈夫そうなら……

ズッ



一度たぐさ...

んっ
!!

かっ
かっ

びんびん
かっ
かっ

X
X

っ

なっ…なんだ!?!
なんでここだけ
出っ張りが…

グッ

ふちゅっ

ふちゅっ

ツ

ツ

くつくそ!
男根の先っぽが
丁度はまって…!

ズ

ズ

ズ

ズ



ぐっく…
あと少しなんだ！
はっ…早く体勢を
ずらして…っ

くっ…丸太触手が
不安定で…力が
入れづらい…！

向こうについて
体勢さえ整えれば
いっぱいシロシロできるから…
は…早くうう…！！



くひっ! ああ...
ぼっ馬鹿私!
今ちんぽのことなんて
考えたら... さつき抑え込んだ
射精の波が... 一気に...!

か
か
か

はっ... 早くいかっ
イかないと! イク!
向こう岸! イク!
ちんぽイクら!!

ふあっ
ふあっ
ふあっ

ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



ヒッパッ

ひどくイクイクう!!

いっぱい我慢ちんぽ
いほいほ触手に擦れて
イクう!!

トッポッ

グッ

クッ



ひやあつ!!

や...やっぱり
集まってきた...!

ピ
ク
ク

ピ
ク
ク

くう...どうしてあと少し
我慢できなかつたんだ...!

ク
ク

ク
ク

ク
ク

ク
ク

まずい…完全に
囲まれている…
一体一体が力の弱い
低級でもこれほどの数が
集まってしまおうと…

たぶっ

ぶっ

びび

びび

けれど…
男根が萎えて集中力が
戻っている今が
またとないチャンス
少し癪だけど
今は逃げることにだけに
すべての意識を…

「ブル」

「ピ」





おっ...おとお尻!!
な...んでえ...!!

ひいっ...!!

クワッ

ヒッ

ワッ

ヒッ



ヒクッ

ヒクッ

うぐっ…んっ…
やだ…何この感じ？

まるで…直接
男根の真芯を
えぐられるような…
うそっ…またちんぽが…

グッ

グッ

ガン
ポン
ムク
ムク



んんんんっ！
何これ何これえ！

お尻から…無理やり
精子…押し出されて…!!
うそ！触ってないのに
いつっちゃう!!
ちんぽいつっちゃう!

グキョ
グキョ
グキョ

ビク

ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク



ひっ……
イクら!!

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ビクッ

はあ...はあ...
そんな...こんな
簡単に...私のちんぽ...

だめっ...気をしっかり
もたなくちゃ...!

ブル

ブル
ブル



ひっ!? ひっ!? ...
なに? 乳首!?

まっまた
おかしなものを...!



ああ!? 熱い!
乳首が...! 胸が!

胸の中で
変な感じが
どんどん膨れて...!?

クククク

グググ

ドド

カクカク





んんんんんん！！

はっ...あ...
な...んだ...これは!!

私の胸が
こんなに大きく!!

だ
だ
だ

ズ
ズ
ズ



くうくう……!
人の体を
好き勝手弄んで……

グ
グ
グ

これ以上こいつらの
思い通りに
なるわけには……!

グ
グ
グ

ト……

トル





おほおおおおおお!!

ちっ...ちくび!
やめ!それっため!

グッ グッ

グッ

ビッビッ

グッ

グッ

グッ

ビッ

なんで…
乳首いじられただけで
こんな…!!

これ…やばい!
パンパンに張った乳首
グリグリ翳られるの
きつ…きもちいい…!!





ヒンツ

ほっ!?
今度は何!?

ピンピンの勃起乳首に
触手が巻き付いて...

グッ

グッ

グッ

グッ

んおおおおおおお!!

乳首シヨシヨ

きたあ!!

ビクッ

ちんぽみたいに
勃起乳首も
シヨシヨされて...
感じすぎるう...!

ビクッ

ビクッ

ビクッ



やだ！くる！
体の奥から快感の波が
一斉に乳首に向かって……！！

乳首イク！イク！
乳首いきしちやうう！

ビク

びく

びく

びく

びく

びく



おほお!
イツクウ!

イビュ
イビュ

イビュ
イビュ

お...おおう...
んっ...んっ...

ち...ちんぽだけじゃなく...
乳首でもこんな
はしたないイキかた...

まずい...も...
戻れなくなるう...

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ





はあ...はあ...
「体...」まで
このような...

それに先ほどから
いくら出しても
ちんぽの勃起が
治まらない...

だぶん

びびび



ヒューッ

ドロオ

ひらっ冷たり...
乳首とちんぽに...
こ...これは？

ヒューッ



んんん〜っく〜
屈したりなど〜!

ぜったい…に…!

ヒクッ

ヒクッ

ヒクッ



く……なんて卑劣な！
おつきくなって感度が増した上に変な液体で痒くなった
乳首シロシロ攻撃なんて！

こんな気持ちいいの
いくら退魔忍たる
私であっても
耐えられるわけが……！

悔しい！また簡単に
イカされるらう！

ヒクッ

ヒクッ



イッ……くっ！

おっぱいびゅるびゅる
しながらまた！
乳首だけでイクワ！

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ



はあ...はあ...
おのれ...私の胸を
散々弄んだとなれば

次は当然この
今にも破裂しそうな
勃起ちんぽを狙う気だろう...

ぶるん

ぶるん

お前たち低級魔獣の
浅はかな考えなど
お見通しだ!



えっ？
うそ！なんでまた
おっぱいに……！

それになんだ
この妙な形状の触手は？



ひぐう!
またいつちやう!

乳首からいつぱい
きもちいのの
びゅーびゅーして
いつちやううう!!

ヒツツ
ギボ
ギボ
ギボ



おほおおおおおおお!

母乳が乳首
突き抜けるうう!

えっちなお汁吹き出すの
気持ちいい!

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ



はーっ：はーっ：ぐっ：
き：きもちいい：けど
まだ：ちんぽが：

ちんぽがかゆい！

おまけに：乳首が
気持ちよくなるほどに
ちんぽの中にもどんどん
気持ちいいのが溜まってっでー



くらーちんぽ！
ちんぽ思いつきり
シロシロしたささろ

かゆいのも
気持ちいいのも限界！
おかしくなるう！

ぶるん

ぶるん
ぶるん

77
11

かた

かた

かた



はっはっはっ
きつ...きたー!

そ...そうだ! かかってこいー!
私のちんぽはお前のような
低級な魔獣になど
決して負けたりしない!

さっさとその汚らわしい口を
私のちんぽを
飲み込んでみせろ!



ふぐらうらうら...!
なんて凶悪な攻撃だ...!

乳首からの快感で
はち切れそうな先っぽを
みっちり飲み込んで...

あゆぽろ
ぐわ
ぐわ
ぐわ

だ...だが!
そんな程度で私は
イッたりしないよ...!

お願い！
ちんぽイかせてえ！

かゆみ限界の
勃起ちんぽ思いっきり
飲み込んで…！！

ぐっぐつの精子
どっぴゅんさせてえ！！







んほおおおおお!!

ほおおおイク!イクう!!

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ドク
ドク
ドク

ビュッ

ビュッ

精子爆発するう!!





はあああああ...
やつと...イけたあ...

きもちよすずき...
ちんぽの快感
叩き込まれちゃうらうら...

るるる
しゅ

ビクッ

ビクッ

ビクッ



んひひひひ!!
乳首もぎたあ!

退魔忍シズクの弱点
三か所同時責めなんて
逆らえないひひ!!

ヒッパッ

ギッ
ギッ

ギッ
ギッ

じゅぽ
じゅぽ

じゅぽ

かか

かか

かか

ほおおお！来る！
来ちゃうう！
マックスの快感が
それぞれの出口に向かってー！

じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ

ヒッパッ
ギッポ
ギッポ

イクイクイクイク
イクイクイクイク
乳首もちんぽも一緒に
イクううう！

カカ
カカ
カカ



あ……またあ……

奥まで
飲み込んでえ……



END